

身高 Dream Project

高大連携講座

本校の高大連携講座では、昨年度より引き続き文化庁主催「歴史の道百選」に選定された「みのぶ道」に注目し、地元の観光・産業の活性化について研究しています。山梨県立大学と連携を組み、様々な助言をいただき、活動しています。昨年度コロナ禍のため制限されていた地域のフィールドワーク活動を今年度は積極的にを行い、高校生の視点で知られざる地域の魅力を観光資源として活用できるよう提案をしていきます。



2年C組 芦川 うらら

私たち高大連携講座では、地域貢献を目的とし、日々活動に取り組んでいます。昨年度は、身延町の観光スポットとして、「みのぶ道」を取り上げ、調査・研究をしてきました。実際に、みのぶ道である門内地域や、その周辺を調査し、見どころパンフレットを作成しました。また、春休みには、身延町役場で、一年間の活動報告を役場の方々に行いました。

私は身延町在住ではありませんが、この高大連携講座に参加して、身延町の様々な歴史・文化・行事・観光などを知ることができ、今まで以上に興味を持つようになりました。また、地域の方々との交流を深めることもできました。これからも地域の特徴を生かしていくために活動をしていきたいです。

2年C組 若林 真士

私たち高大連携講座は、身延町の活性化を目指し、様々な活動をしました。まず、身延町の門内地域や周辺地域を調査しました。その調査の中で、「みのぶ道」の存在を知り、「みのぶ道」を観光に利用できるのではないかと考えました。そこで見どころパンフレットを作成し、身延町役場の方々に発表、提案しました。

私はこの活動を通して、身延町の門内地域や周辺地域についてより深く知ることができました。「みのぶ道」をより多くの人に知ってもらい、たくさんの方々に観光にきてもらうことで地域活性化にもつながると感じています。今年の高大連携講座のテーマは、昨年度の内容をふまえて、「観光」についてさらに深めていくことになっています。私たちの高校がある、この身延町のいいところをさらに多く見つけて、貢献していきたいです。

中高一貫教育事業

今年度も身延中学校・南部中学校・身延高校では、「学習意欲の向上」と「基礎学力の定着」を目的として、担当教員による授業アシストを実施しています。中学校の授業アシストでは、高校の数学の教員が両中学校の数学の授業をアシストしています。現在、3年生の数学の授業を週2日実施しています。中学生は高校の問題の解き方も学ぶことができ、刺激を受けています。高校の授業アシストでは、両中学校の数学と英語の教員が、高校1年次の数学と英語の授業をアシストしています。今年度から高校は新課程となったことから、新しい視点も加えながら実施しています。4月から7月までの期間に集中して実施することで、高校1年次生の授業のつまづきを減らすことも目的の一つです。



校長の



本校は大正12年、県立身延中学校として開校され、本年創立百周年を迎えました。卒業生は2万3千名を超え、県内はもとより、国内外の様々な分野で活躍されています。創立当時の精神は、校訓「質実剛健 互助互譲」として今も受け継がれています。また、文武両道を掲げ、生徒は勉学と部活動の両面に励み、大きな成果を収めています。

さて、本校は令和元年度から、身延中学校・南部中学校との連携型中高一貫教育事業を導入しています。さらに、令和2年度、県内の公立高校として最初となるコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置しました。このような新しい事業に取り組み「地域とともにある身延高校」として、新たな歩みを進めているところです。また、スクールスローガン「チーム身延」を掲げ、生徒・教職員が一つになり、助け合い、支え合いながら何事にも果敢にチャレンジし、前向きに取り組んでいます。「一人一人の頑張りが皆の頑張りにつながり、皆の頑張りが一人一人の頑張りを支える」…本校は、そんな温かい学校です。生徒の活躍につまましては、この紙面や学校ホームページ等でご覧いただきたいと思っております。

ところで、未だに続くコロナ禍、感染拡大は一向に収束する

兆しが見えません。感染対策を万全にしながらの学校生活となっていますが、できる限り学校行事等を通常に近い形で行えるよう模索しながら教育活動を展開しています。5月の県高校総体も、感染対策を講じながら、一部の競技では観客を入れた形で行われました。本校生徒も活躍し、陸上競技部・ソフトボール部・柔道部・体操競技(個人参加)で関東大会への出場権を獲得しています。徐々にではありますが、日常を取り戻す動きがある中で、なかなか実施できないことがあります。それは、「校歌」をうたうことです。新型コロナウイルスへの感染が始まってから、校歌をうたう機会が奪われてしまいました。本校の校歌は、北原白秋先生作詞・山田耕筰先生作曲という、日本を代表する芸術家によって作られています。この校歌は本校の誇りであり、身延高校生ならびに同窓生の心の拠り所となっています。一日も早く、コロナ禍が収束し、全校生徒で校歌をうたえる日が来ることを切に願っています。

結びに、本校は今後も、百年の輝かしい歴史と伝統を胸に、新たな時代を見据え「小規模ながらもきらりと光る魅力ある学校」の構築を目指して邁進してまいります。変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

SHINKO 身高 VIEW

Vol.21
2022 July
MINOBU HIGH SCHOOL

新生活スタート号



身高生よ いざ進め!
—盛夏の躍進を誓って—

山梨から関東
そして
全国へ!!

関東大会・IH 出場決定!!

100周年の身延を背負って立つ4部対談

- 関東大会出場 ●陸上競技部 ●ソフトボール部 ●男子体操 ●柔道部
インターハイ出場 ●陸上競技部 ●男子体操



身高VIEW インタビュー

—今回の高校総体の結果について率直な感想をお願いします。

山本 素直にうれしいです。高1の時一人だけ部員の中で関東に行けなかったのが悔しかったので先生に良い報告ができて安心しました。ただ、ハンマー投げの大会記録(44m15cm)の更新が叶わなかったのが少し悔しいです。自己ベストは45mを超えているので…

千月 すごすぎるでしょ、それは(笑)ソフトボール部は、部員や助っ人を集めることで精一杯だったから今回の僅差での準優勝は、上出来すぎる結果かもしれない。

橋本 柔道部も部員が4人しかいない中で、関東に行けることは素直にうれしいです。

山本 (隣を指さし)大賀君、すごく緊張してる!

鈴木 こういうインタビュー初めてなので…個人総合では1位の選手との差を実感したのでその差を縮められるようにしたいですね。

—身延高校に来てよかったと思うのはどんな瞬間ですか?

千月 やっぱりゴッド(小林先生:陸上競技部顧問)の存在ですね(笑)本当にオーラがすごい人なので…

山本 (笑)私にとっても顧問というだけでなく、陸上を始めるきっかけをくれた先生なので感謝しかありません。

橋本 生徒は少ないけど設備も充実していて、伝統もあるので気が引き締まります。

鈴木 購買のプリンが美味しいので、それがおすすめです!!

千月 プリンだけでなく、全部美味しいけどね!

山本 早くコロナが収まって、お弁当じゃなくて本来の学食に戻ってほしいです!

—どんな生徒に身延高校に来てほしいですか?

山本 新しいことをしたいという人に来てほしいです。私自身も中学校時代は吹奏楽部で、まさか自分が陸上競技部に入るとは思わなかった。挑戦を楽しめる人にお勧めします! 環境もいいので、すごく恵まれると思います。

千月 僕は、ソフトボール部の歴史を引き継いでくれる人に来てほしいです。歴史と伝統はあるけど、人数が減ってしまっているのでその歴史は途絶えさせたくないです。そのためにも、結果を残さないで…

橋本 けじめをつけられて、文武両道が出来る人に来てほしいと思います!

—改めて、関東大会への意気込みをお願いします。

千月 過去のソフトボール部の最高戦績が準優勝なので、優勝を狙いたいです。1勝で満足するみたいな考え方は好きではないので。100周年なので目標は大きく出たいと思います!!

鈴木 県予選では失敗が多かったのでノーミスで演技を終えたいです!

橋本 4人しかいない中での団体戦なので、一戦がすごく大事になると思います。技に入る際の隙が課題なので、そこを鍛えて試合に向かいたいです。

山本 昨年の卒業生の小森さん(注:小森直史さん:国士館大学在学中)が素晴らしい結果を取めたので憧れられる存在になりたいです。また、自分のベスト記録を残せるような試合にしたいです!

等身大の生徒たちの熱い気持ちが非常に伝わるインタビューでした。実際には1時間近く熱い想いや高校生活の思い出を語ってくれました。すべてを紹介することはできませんが、是非、創立100周年目の身延生としてベストを尽くして来てほしいです。

最後の高校総体を終えた3年間の総括!

男子バスケットボール部



■3年B組 前栗藏 裕龍 (南部中学校出身)

3年間の活動の中で、主体性と本質を見抜く力をつける事ができました。コロナ禍で思うように部活動を行うことができませんでしたが、最後の総体でチーム一丸となって勝利を収める事ができ、とてもうれしく思います。今まで、僕たちを支えてくださった方々に感謝し、部活動で得た力や経験を元に頑張っていきたいです。



女子バレーボール部



■3年C組 遠藤 真凜 (南部中学校出身)

ベスト8の実力があるチームと対戦し、自分たちがどれだけ勝負出来るかという期待もありつつ、通用するのかなという不安もありました。試合を通して、最後まで身延らしいバレーができたと思います。この3年間楽しいことばかりではありませんでした。辛く、時には、仲間と話し合う機会もあり、それを乗り越えて、部活動を通して得られるものはとても大きかったです。



男子ソフトテニス部



■3年B組 深澤 拳斗 (増穂中学校出身)

テニスを通して「信頼関係を築くには時間がかかる」この言葉の意味を実感する部活動生活でした。選手としてペアと、部長としてチームメイトや顧問の先生と、たくさん苦労しながら信頼関係を築いていきました。その結果として、テニスはもちろん人間としても成長できた3年間となりました。チームメイト、先生には感謝しています。



女子ソフトテニス部



■3年C組 山本 晴菜 (南部中学校出身)

私は女子ソフトテニス部に3年間所属しました。2年生の頃は、人数不足で練習が大変だったこともありましたが、しかし、3年生になり1年生も入部してそれぞれが自分の課題と向き合うことで日々の練習に一生懸命励むことができました。そして、最後の総合体育大会では全員がベストを尽くせたと思うので良かったです。



NEW!! バドミントン同好会 創設!!



■3年B組 望月 琉夏 (早川中学校出身)

バドミントン同好会が今年創設され、現在21人で活動しています。週2日の活動で、基礎的な打ち方や試合などを行っています。同好会のほとんどが初心者で私自身も経験がないのですが、経験者の方たちがアドバイスをくれます。週2日の活動ですが、一人一人自身の技術向上のため日々頑張っています。



生徒会長
3年A組 久本 祐康
(早川中学校出身)

皆さん、こんにちは。生徒会長の久本祐康です。今年度で本校は創立100周年を迎えます。そんな伝統ある本校ですが、いよいよ学校生活最大の行事である身延祭が近づいてきました。全校生徒だけでなく、先生方も一丸となって準備をしています。新型コロナウイルスの影響もある中での開催で、例年通りに行くことは難しいかもしれませんが、全員が最高の思い出を作れるように生徒会本部として、一生懸命運営したいと思います。